



様式第4号（第6条関係）

平成31年1月31日

富士見市議会議長 尾崎 孝好 様

会 派 名 安心倍增市政の会
代 表 伊勢田 幸正

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 平成31年1月17日（木）
- 2 参加者名 伊勢田幸正
- 3 場所（行政視察地・研修場所）
JICA市ヶ谷ビル 2階 国際会議場
東京都新宿区市谷本村町10-5
- 4 調査・研修概要
セミナー「セルビア共和国へようこそ」
同会場での写真展

冒頭、セルビア共和国大使ネナド・グリシッチ閣下より挨拶があり、JICAによるセルビアへの支援に謝意が示された。

またJICAの役員から日本とセルビアの交流や支援についての説明があった。昨年のヨーロッパ剣道選手権では、セルビア女子チームが準優勝するなど日本のスポーツも盛んであることが紹介された。

以降、大使館職員により、セルビアの紹介がされる。

セミナーでは冒頭、日本でのセルビアの認知度についての話があり、一番多いケースとしては戯曲「セビリアの理髪師」のスペインのセビリアと間違われ

るほか、ロシアのシベリア、花のサルビアと間違われる話や、「危ない、治安が悪い」という内戦時代の印象が日本では強く、大使館にも「未だに紛争は続いているのか」という問い合わせがある話がされ、日本での認知度の向上が課題である旨の話があった。

我が国とセルビアとの交流や除虫菊のエピソードなどの話があった。セルビアからは日本には冷凍フルーツ（ラズベリーなど）が輸出されており、「食べているケーキやお菓子里に使われている果物が実はセルビア産かもしれない」という話も紹介された。

またスポーツが盛んであることに触れられ、そこで富士見市がハンドボールとレスリングのホストタウンになったことにも触れられた。

セルビアの偉人としては、ニコラ・テラスが紹介され、本市と同じくホストタウンになった山口県防府市で「ニコラ・テラス展」が開催されることが紹介された。ニコラ・テラスは「エジソンのライバル」でもあったセルビア人科学者である。オバマ前大統領が演説で、「アメリカは移民が作った国」と述べた中で、その代表的人物を4人挙げた。アインシュタイン、鉄鋼王のカーネギー、グーグル創業者のセルゲイ・ブリンとともにニコラ・ステラは挙げられているが、日本では知名度が低く、日本に来たセルビア人はびっくりする話も紹介されていた。

他にもアインシュタインの最初の妻であったミレヴァ・マリッチなども有名なセルビア人として挙げられた。

また埼玉大学に通うセルビア人留学生2人も登壇し、日本でのエピソードなどの話をしていった。

5 感想及びまとめ

セルビア大使館の日本でのセルビアの認知度を上げたい思いが多々感じられた。

ホストタウンに先に名乗りを上げている山口県防府市のニコラ・テラス展などの取り組みを本市も行ってはと思う。

また会場ではセルビア大使館が提供してのパネル展・写真展等も開かれ、大使館が保管している東日本大震災の際にセルビアの市民からの寄せ書きが書かれた日章旗や、大学生と連携して作成されたセルビアを紹介するパネルが展示されていた。まずは本市でも、これらのパネルを活用して巡回展等を開催し、改めて市民のセルビアへの認知度を上げる取り組みをしてはどうだろうか。

こうしたことを今後提案していきたいと思う。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管